

県宝橋倉家 市民が掃除

安原歴史研究会が活動

松本市の安原地区歴史研究会(金岩博司会長)は17日、県宝に指定されている地元橋倉家住宅(旭2)の掃除をした。江戸時代の武家住宅の形式をよく便所だった建物の床掃除や庭の草取りなど隅々まできれいにし、見学者が素朴な趣を気持ちよく感じ取れるようにした。

た。

同会は約10年前から橋倉家住宅の掃除をしてきた。経年による傷みが目立ってきたため、所有する市が昨年

た。会員は声を掛け合いながら座敷に掃除機をかけたり、障子戸を雑巾で拭いたりした。外度には土間、屋根など各所を補修。地元住民が行う読書会などに限定的に活用し、定期的に手を入れている。金岩会長は「以前よりきれいになった。地元の文化財を守るのは会の仕事なので、今後も続けていきたい」と話した。(長尾浩道)



橋倉家住宅の座敷を掃除する会員たち